



二月号

このゆびとまれ

多里まちづくり推進協議会広報誌



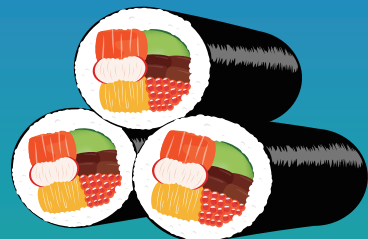
tari_nichinan

検索



多里まちづくり推進協議会

検索



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年も皆様の協力を得ながら、地域の安心・安全・楽しい地域づくりに勤めたいと思っています。

さて、新年早々の震度5の地震の際、多里まち協では素早く防災対策本部を立ち上げ、各自治会長と連携を取り被害状況等の確認作業を実施し、異常なしとの報告をいち早く受けることができました。

このような防災に対する連携、また桜公園を守る会、多里はんざけを守る会などの各団体の活動をつうじてますます多里地域が発展できるよう役員一同頑張っていきますので、本年もよろしくお願いいたします。

多里まちづくり推進協議会 会長 榎尾稔正



とんどさんを開催！

今年も多里一ズにお世話になり、毎年恒例の「とんどさん」を開催しました。今年は大寒波のさなかではありましたが、点火の頃には雪も少し落ち着き、高い煙が空へ立ちのぼっていました。終了後はセンターで温まっていたきながら、「来年は書き初め大会をした後にとんどさんをするのもいいね」といった声も聞かれました。来年の盛り上がりにも期待大です！寒い中、多里一ズのみなさま、そしてご参加くださったみなさま、ありがとうございました。



センターOpen DAY「まあきないや多里」



土日センターを開放し、地域の憩いの場にしようという取り組み「まあきないや多里」を行っています。今月はとんどさんの日にあわせました。コミュニティカフェを設置し、とんどさんから出入りできるようにしました。

午後からはキムチ作りワークショップを開催。地域のお母さん方や町内の親子連れなど、幅広い年代の方が集まり賑やかな時間となりました。

作業のあとはみんなでティータイム。「次回の手仕事講座はこれがいい！」など、楽しい会話が広がっていました。外では子どもたちが雪遊びをする姿も見られ、さまざまな年代が自分に合う楽しみ方で過ごせる、魅力的な場所になったと感じます。今後も楽しい居場所づくりや、世代間交流のできる場所を作るため少しずつ歩んで参りますので、やってみたいことや、やってほしいことなど、ぜひアイデアをお寄せください。

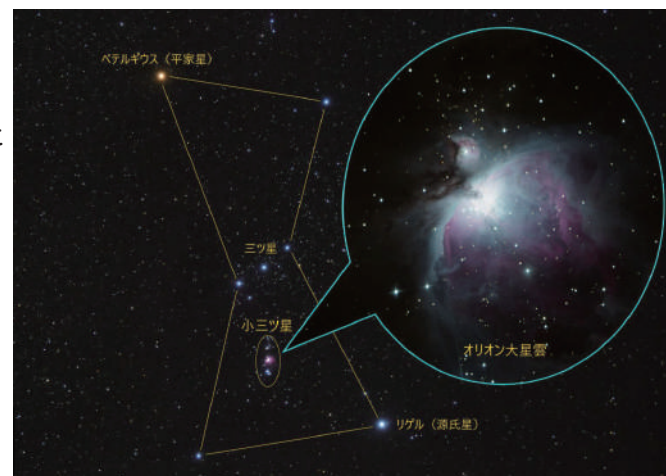


今回は冬の星座の代表ともいえるオリオン座についてのお話でしたが、

この星座に「オリオン大星雲」と呼ばれる特別な領域があります。

星雲とは、宇宙空間に漂う塵やガスが重力的なまとまりを持った天体で、寿命を迎えた恒星から噴き出したガスや超新星爆発によって飛び散った星の死骸なども含まれています。それらは再び引力によって集まり成長して新たな星が誕生する事から「星のゆりかご」とも言われます。

オリオン大星雲はまさに星が誕生している最中で、その中心部にはトラペジウムと呼ばれる生まれて間もない星の集団があり、その光で周囲のガスを照らし出している姿なのです。オリオン座の真ん中にある三ツ星のすぐ南側に小三ツ星と呼ばれる小さく並んだ星が見えますが、その真ん中にあるのがオリオン大星雲です。よく見ると肉眼でも星のような光の点ではなく白っぽい小さなシミのように見え、望遠鏡や双眼鏡を使うと鳥が翼を広げたような形を見る事ができます。私たちの見ている太陽や住んでいる地球もこうした星雲の中から誕生し、その成分から生命が生まれた事を考えると私たちも宇宙の一部なのだと感じる事ができますね。



解説・写真

鳥取県認定星空案内人第1号
新田浩志（星のソムリエ®）

